

鹿児島大学病院（仮称）アメニティ施設整備に 関するサウンディング型市場調査

補足資料

鹿児島大学病院



目 次

1. 背景	2 ページ
2. 中期目標・中期計画との位置付け	2 ページ
3. 目的	2 ページ
4. 整備方針	3 ページ
5. 整備位置の情報整理	
【Ⅰ】基本情報	4 ページ
【Ⅱ】条件整理	5 ページ
【Ⅲ】建物建設要件の整理	6 ページ
6. 導入機能の情報整理	
【Ⅰ】需要ニーズ調査	7～9 ページ
【Ⅱ】条件整理	10 ページ
7. 建物階構成の想定	11 ページ
8. 既存アメニティ	11 ページ
9. 事業手法選定に係る情報整理	
【Ⅰ】事業手法の比較	12 ページ
【Ⅱ】事業手法の事業開始までの期間の比較	12 ページ
【Ⅲ】事業手法の選定	12 ページ
10. リスク分担の検討	
【Ⅰ】リスク分担の検討ステップ	13 ページ
【Ⅱ】リスク事項の抽出	13～14 ページ
11. 鹿児島大学桜ヶ丘キャンパスの概要	
【Ⅰ】鹿児島大学病院の概要	15 ページ
【Ⅱ】アカデミックエリアの概要	15 ページ



1. 背景

鹿児島大学病院では「安心して安全な医療の提供を担保」するため平成19年度より老朽化した診療施設の病院再整備を行っている最中である。

現在、病院再整備の最終段階を迎え、旧医科病棟を取壊し後（令和元年11月取壊し完了予定）にA棟を建設するための設計を行っており、A棟には外来診療部門・中央診療部門・病棟部門が整備され大学病院の診療機能の中核をなす施設である。

しかしながら、患者や付添い者等の病院利用者及び学生や教職員等の大学関係者のアメニティは商用施設として大きな収益を望めるため独立採算にて整備できる可能性があることから、A棟を含め他の施設とは別に民間活力を活用して整備することを計画している。

2. 中期目標・中期計画との位置付け

鹿児島大学の中期目標及び中期計画（中期目標を達成するための措置）と本基本構想の位置付けは次表のとおりとする。

中期目標	中期計画	本構想の位置付け
<p>【附属病院に関する目標】</p> <p>安心して安全な医療の提供を担保しつつ、社会や患者のニーズに合った高度で高質な医療を提供し、地域医療に貢献する。</p>	<p>【附属病院に関する目標を達成するための措置】</p> <p>病院再開発整備により病院機能を強化するとともに、県の地域医療構想（ビジョン）及び医療計画等を踏まえ、県内唯一の特定機能病院として高度医療を提供する。</p>	<p>病院アメニティの充実は外来待ち時間の有効活用、入院中に必要な物品等の補充、長期入院における精神的な負担軽減となり高質な医療提供に貢献できる。</p>
<p>【外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標】</p> <p>安定的な運営を行っていくため、外部資金や寄附金等の自己収入を増加させる取り組みを行うなど、財務基盤の充実を図る。</p>	<p>【外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加に関する目標を達成するための措置】</p> <p>安定した財務基盤の確立のため、診療・サービスの向上に努め、病院収入を確保し自立的な経営を行う。また、大学が保有する物的・人的資源を有効活用し、その他の自己収入の一層の拡大に向けた取組を行う。</p>	<p>民間活力を活用し独立採算にて整備費を捻出できれば、支出の軽減・自己収入の拡大が図れ、民間のノウハウにより新たなアメニティの可能性が広がりサービスの向上に寄与できる。</p>

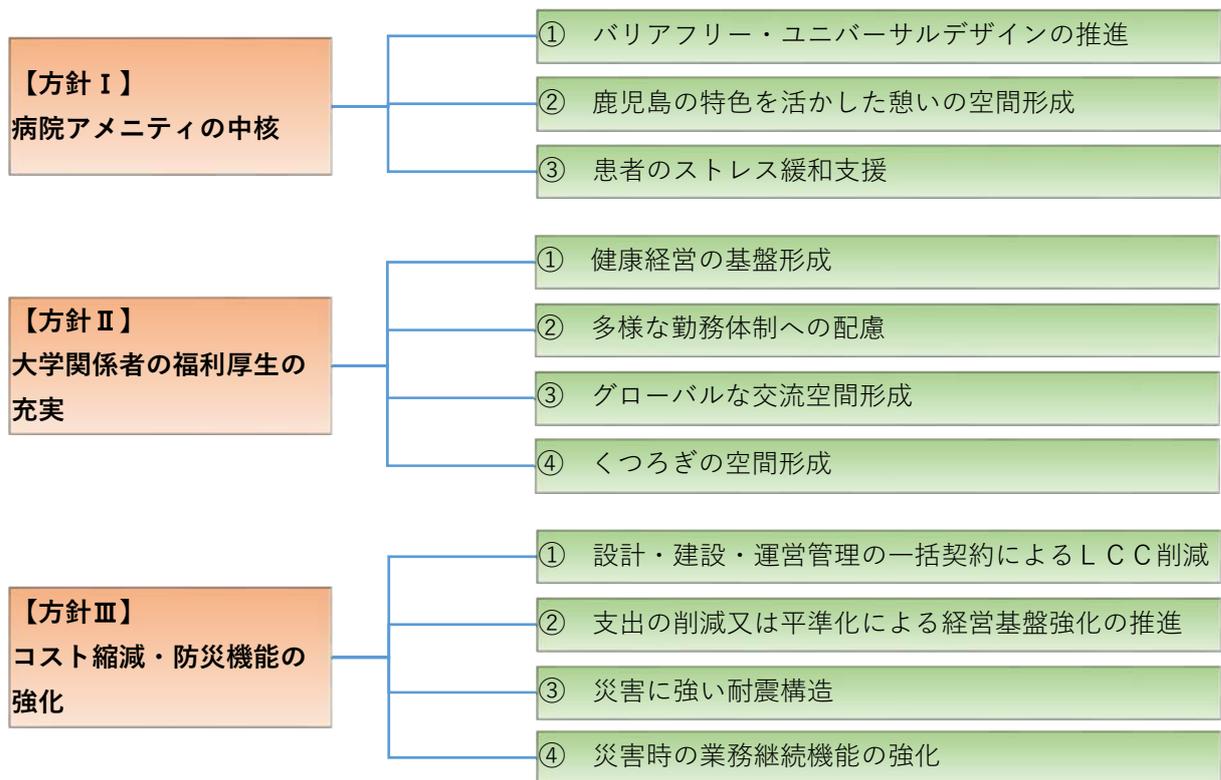
3. 目的

鹿児島大学病院が民間活力を活用して患者をはじめとした病院利用者へのサービス向上、大学関係者の福利厚生充実、地域連携や教育研究の推進、施設の良い保全状態の維持、維持管理経費の長期的な節減の観点も含めたアメニティ施設の整備を行うため、民間事業者を募集し、その提案を基に特定事業を選定することで新たなアメニティ機能の動機付けとなることを目的とする。



4. 整備方針

目的達成のために必要な整備方針を設定する。



【方針Ⅰ】病院アメニティの中核

- ①バリアフリー・ユニバーサルデザインの推進
 - ☞大学病院を利用する全ての方が不自由なく利用できる環境づくりを目指します。
- ②鹿児島の特徴を活かした憩いの空間形成
 - ☞鹿児島の風土や文化、地場産業を活用した憩いの空間形成を目指します。
- ③患者のストレス緩和支援
 - ☞患者さんの入院期間、外来の待ち時間のストレス緩和を目指します。

【方針Ⅱ】大学関係者の福利厚生 の充実

- ①健康経営の基盤形成
 - ☞学生や教職員の健康管理ひいてはイノベーションの創出効果の向上のため健康づくりの基盤形成を目指します。
- ②多様な勤務体制への配慮
 - ☞医療従事者をはじめとする多様な勤務体制へ配慮したアメニティ形成を目指します。
- ③グローバルな交流空間形成
 - ☞多国籍の学生や教職員の様々なニーズに対応した交流空間の形成を目指します。
- ④くつろぎの空間形成
 - ☞勉学や勤務の合間にくつろげる空間の形成を目指します。

【方針Ⅲ】コスト縮減・防災機能の強化

- ①設計・建設・運営管理の一括契約によるLCC削減
 - ☞建物建設の企画から始まりその役目を終えるまでを包括的に管理できる仕組みを構築しLCCの削減を目指します。
- ②支出の削減又は平準化による経営基盤強化の推進
 - ☞日々進展する医療技術やそれに伴う医療法の改正に対応するため診療経費の増額にも耐えうる経営基盤の形成を目指します。
- ③災害に強い耐震構造
 - ☞災害拠点病院としての役割を担うため大規模災害にも耐えうる施設の建設を目指します。
- ④災害時の業務継続機能の強化
 - ☞災害拠点病院としての役割を担うため大規模災害時の地域社会の復興の核として業務継続できる機能の強化を目指します。

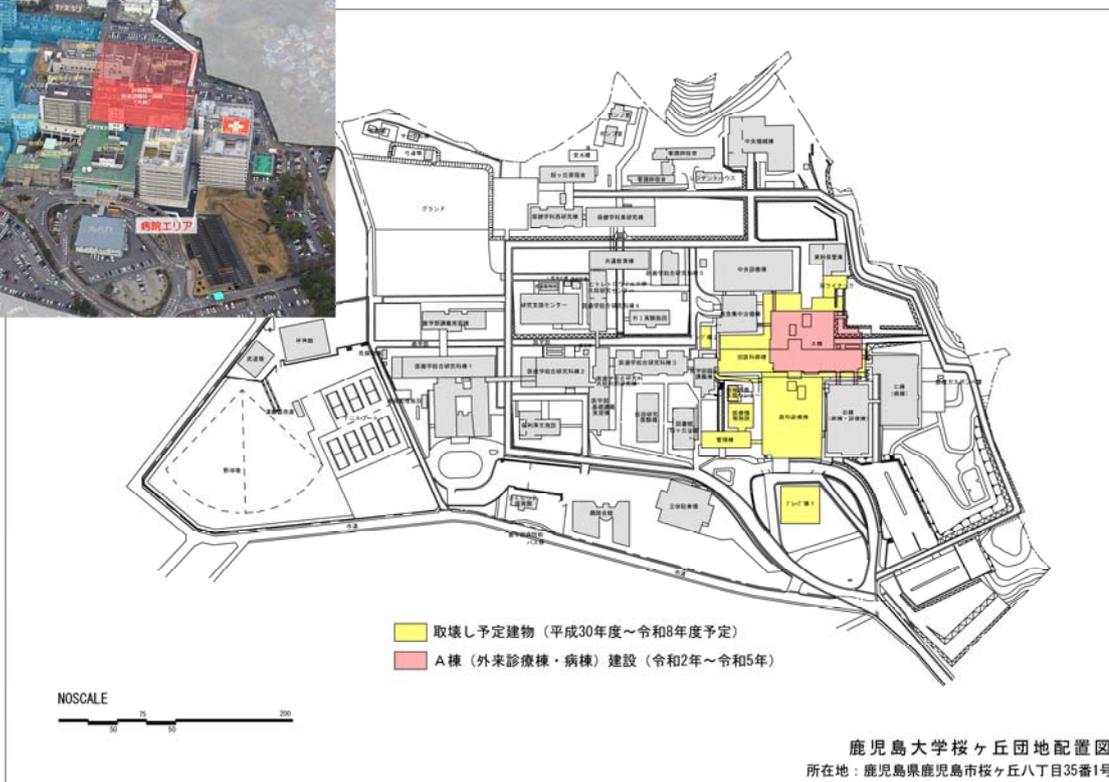
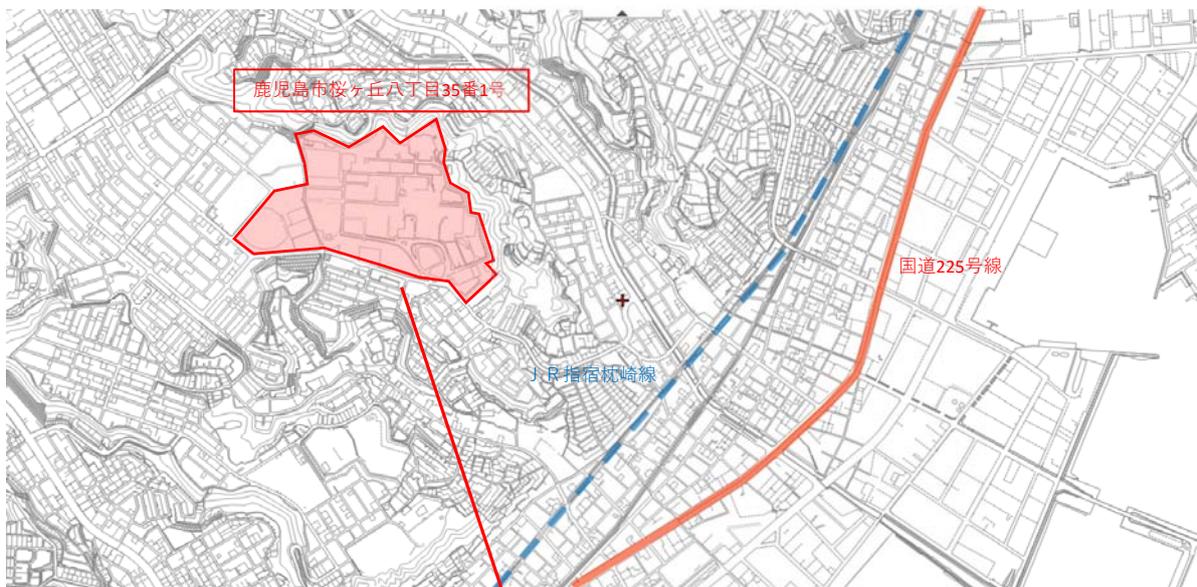


5. 整備位置の情報整理

病院再整備の旧医科病棟取壊し跡地の一部を活用する。

【I】基本情報

- ◆所在地：鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号
(地番：鹿児島市桜ヶ丘八丁目997番1)
- ◆都市計画区域：都市計画区域内(市街化区域)
- ◆防火地域：指定なし
- ◆その他区域：宅地造成工事規制区域、屋外広告物規制区域、景観計画規制区域
- ◆その他地域：第22条区域
- ◆用途地域：第一種中高層住居専用地域
- ◆敷地高低差：約25m(5.5~8.0m)
- ◆地層：盛土、初期火山灰層、入戸火砕流堆積土
- ◆容積率/建蔽率：200%/60%
- ◆接道道路：南側@鹿児島市道脇田桜ヶ丘線、西側@鹿児島市道桜ヶ丘70号線

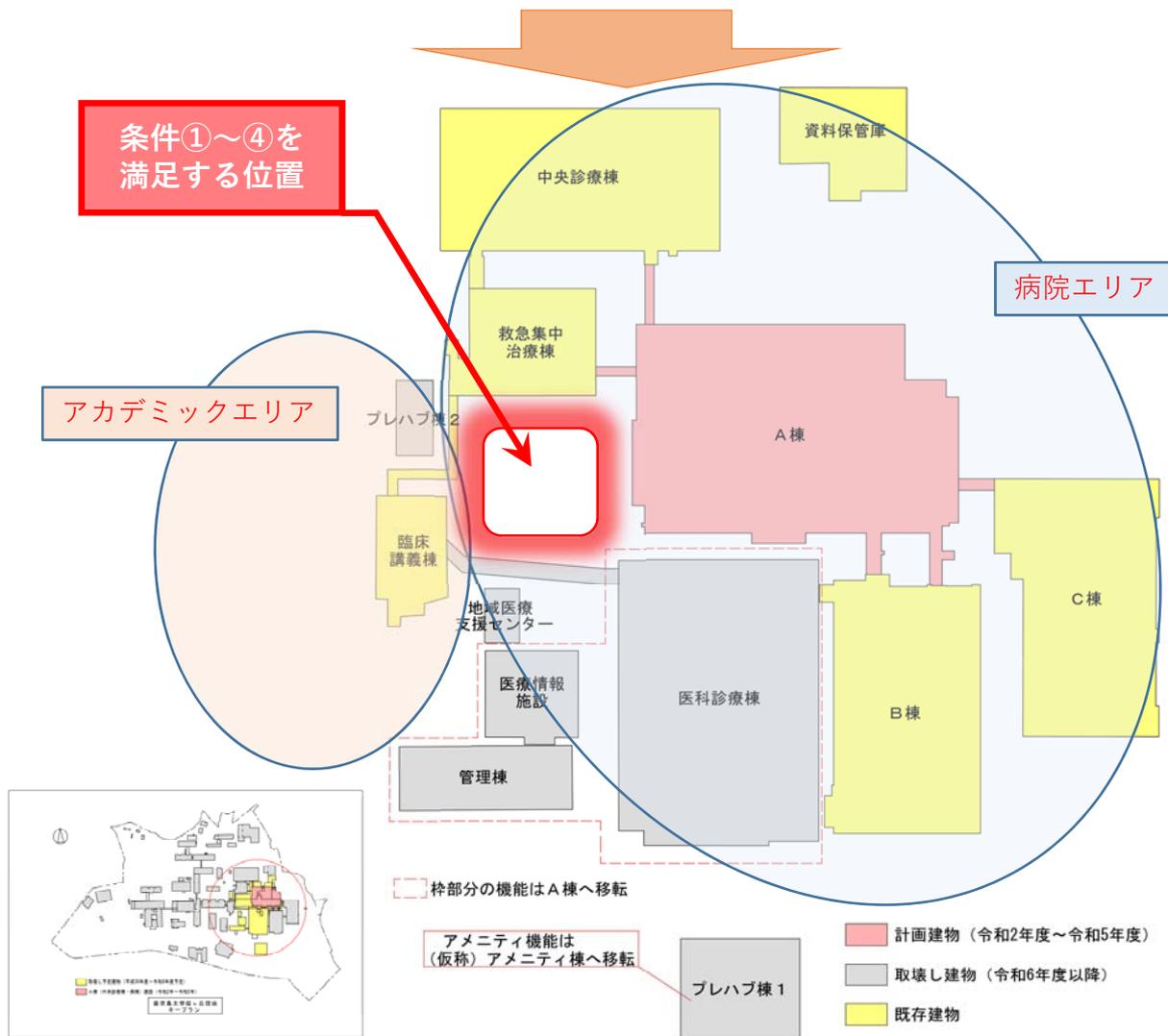
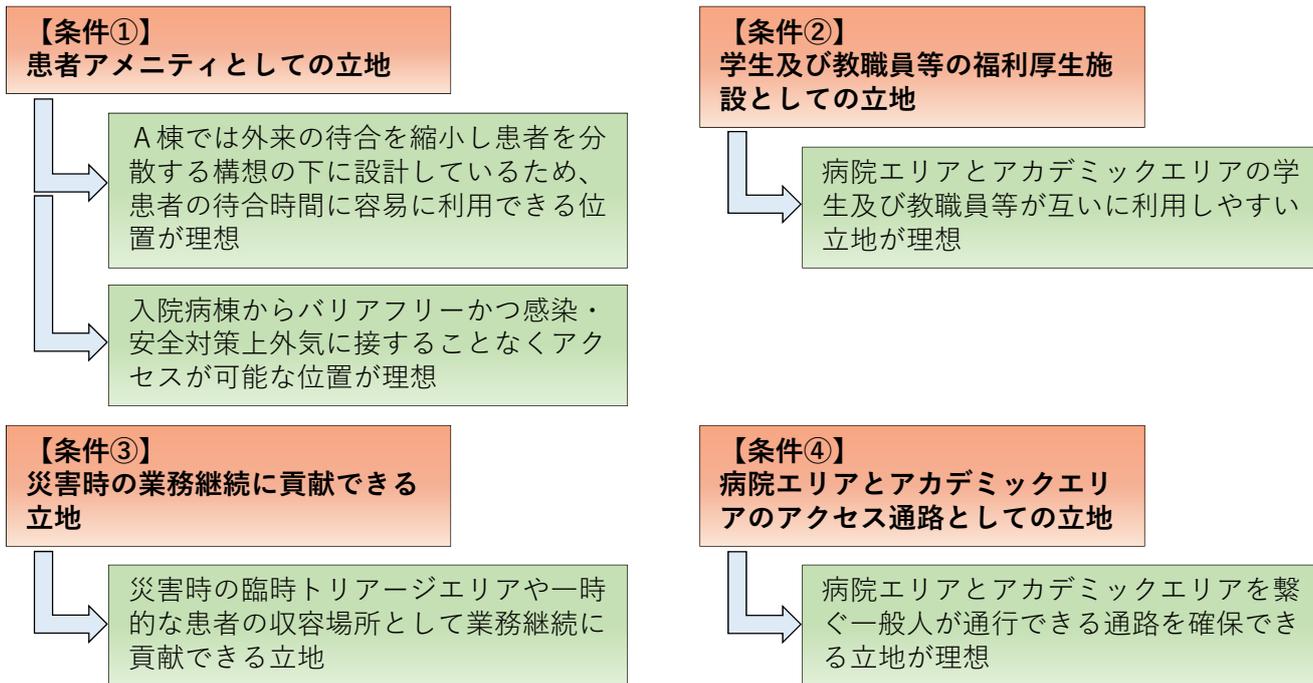


鹿児島大学桜ヶ丘団地配置図
所在地：鹿児島県鹿児島市桜ヶ丘八丁目35番1号



【Ⅱ】条件整理

(仮称) アメニティ施設の整備位置の選定に必要な条件を整理し検討する。



病院再整備予定図 令和6年4月



【Ⅲ】建物建設要件の整理

A棟の建設及び既存棟との取り合いを考慮し（仮称）アメニティ施設の想定される事業用地及び用地面積等の建築要件を整理する。

【建築必須要件】

- ①耐震構造 S造又はRC造
- ②建物の階高は3階以上
- ③A棟及び臨床講義棟との接続廊下の整備（2階と3階）
- ④次項の導入機能の整理において必須機能の整備
- ⑤別途隣接整備するA棟と意匠面において調和を図る

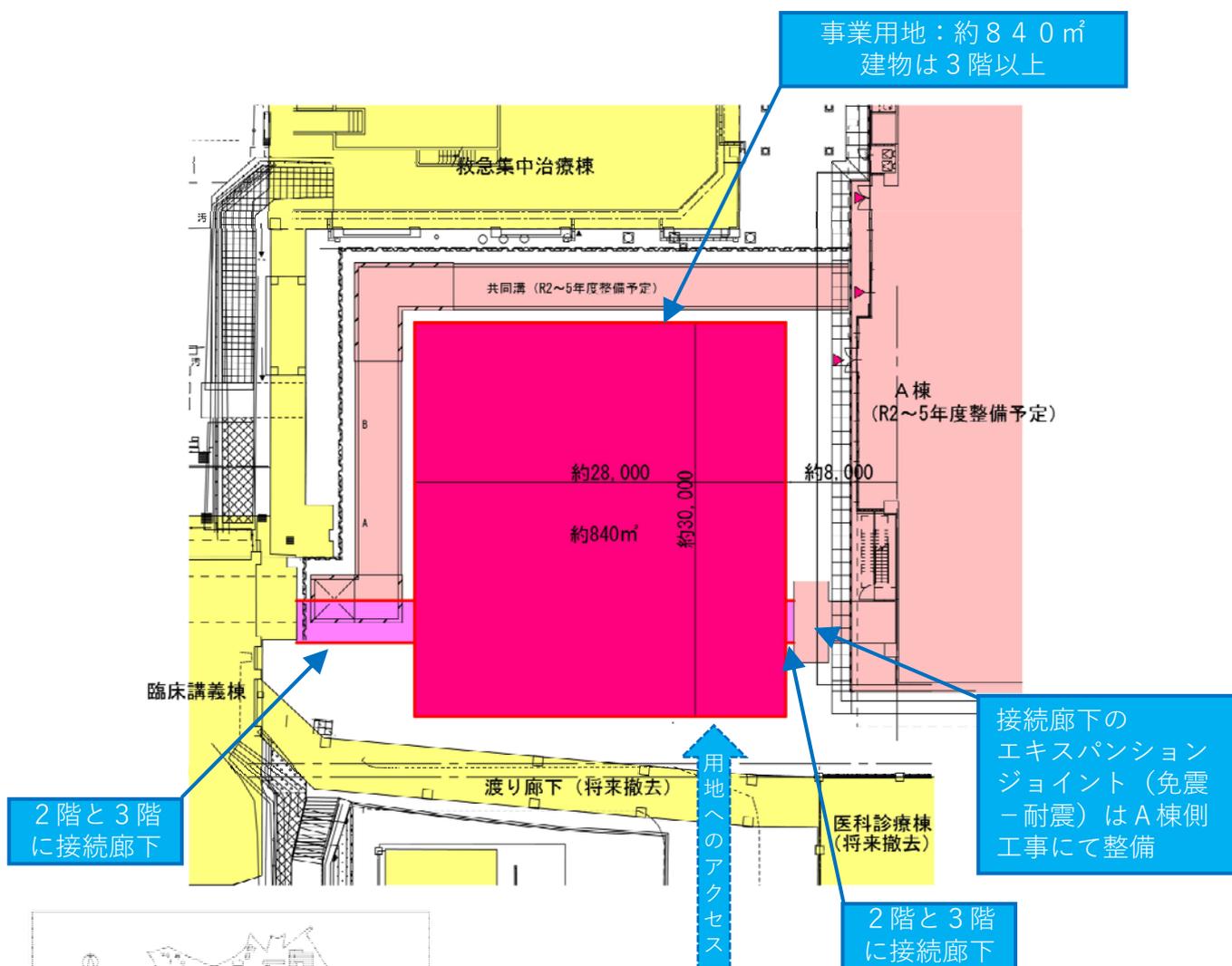
【用地及び建物概要】

事業用地範囲：下図参照

事業用地面積：約30m×約28m＝約840㎡

建築面積：事業用地面積以内

建築延べ面積：建物（約840㎡×3階）＋接続廊下（約10m×約3m×2階）
＝約2,500㎡＋60㎡＝2,560㎡



想定事業用地配置図



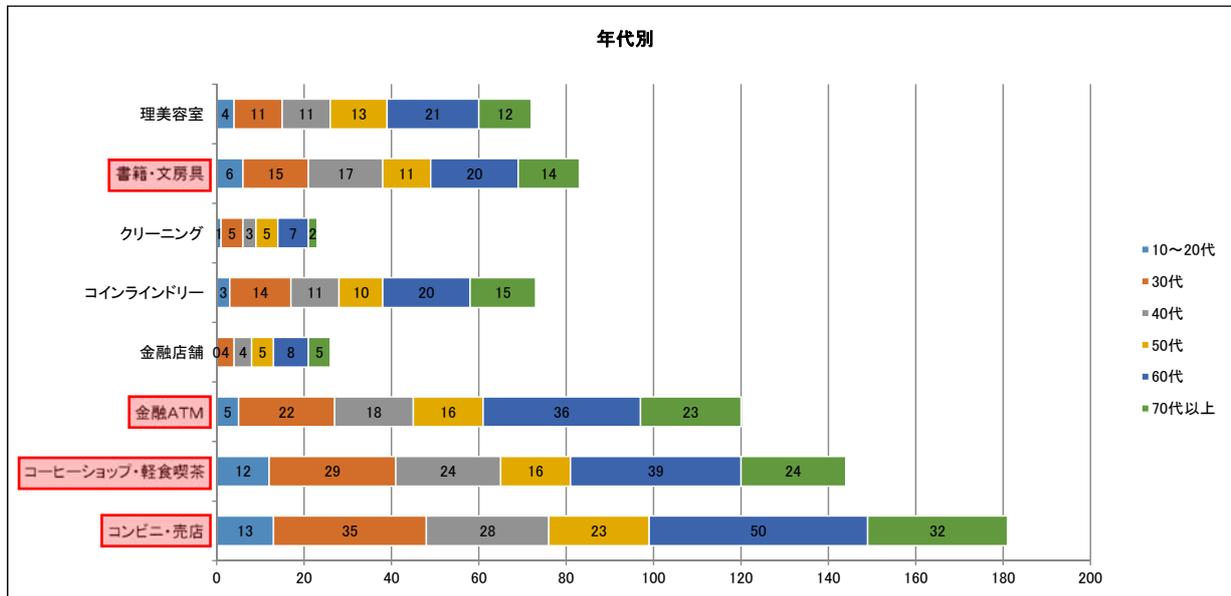
6. 導入機能の情報整理

【I】需要ニーズ調査

(仮称) アメニティ施設に必要な導入機能の選定について、「入院患者」と「教職員・学生」を対象に病院アメニティの需要調査を実施した。

①「入院患者」需要調査結果

【Q1】アメニティ施設へ設置を希望するサービスの需要について



【Q2】アメニティ施設へのその他のご要望

種別	主な利用希望者	内容	意見数
食堂	付添い、家族、見舞い	安い、眺望のよい場所	3
ファーストフード店	患者、付添い、見舞い	イーティングが可能	1
100円ショップ	患者、付添い、見舞い	長期入院時に便利	1
コピー・スキャナ	患者	大量な入院資料をデータ化したい	2
宅配便受取り	患者	ネット通販や長期入院時の荷物受取り	2
図書室	患者、付添い	蔵書は患者、職員、外部からの寄附受け	11
図書レンタル	患者	文庫本、雑誌、コミック	1
CD・DVDレンタル	患者	視聴機器も含めレンタル可能	1
コインロッカー	患者	ベッドサイドの荷物を減らすため	1
冷凍庫	患者、付添い	長期入院や付添いの(冷凍)食品保存	1
食品用自動販売機	付添い	売店営業時間外のパン・カップ麺の軽食販売	3
ホテルアメニティ用品	患者	歯ブラシ、石鹸、シャンプー等有料でよい	1
両替機	患者	ランドリー機が小銭のため	2
フリーWi-Fi	患者、付添い	病室と待合スペース	5
インターネット利用施設	付添い	ネットカフェの様な個室、気分転換	1
面会スペース	患者、付添い、見舞い	患者・家族の談話スペースが無い	6
フィットネスジム	患者、付添い	運動不足解消、気分転換	6
マッサージ	患者、付添い	気分転換	3
温泉・足湯	患者、付添い	気分転換	1
屋外広場	患者、付添い	運動不足解消、気分転換	3
ウォーキングコース	患者、付添い	運動不足解消、気分転換	2
託児所	患者、付添い	保育士が常駐し受診中に預けられる	1
宿泊施設	付添い、家族、見舞い	離島など遠方から来る見舞い等の宿泊所	5
計			63



②「教職員・学生」需要調査結果

【Q1】軽食コーナー又はコーヒーショップ・カフェコーナーについて

【q1】軽食コーナー又はコーヒーショップ・カフェコーナー等のサービス需要について

	計	合計
希望する	959	1034
希望しない	75	
コメント	139	

【q2】希望する開店時間帯について

	計	合計
午前6時より早く希望（早朝希望）	73	958
午前6時～7時	256	
午前7時～8時	379	
特にない	250	
コメント	47	

【q3】希望する閉店時間帯について

	計	合計
午後20時以前の時間帯	116	957
病院の消灯時間に合わせた21時	635	
その他の時間帯	94	
特にない	112	
コメント	121	

【q4】職員用と一般用のエリア区分の必要性について

	計	合計
必要	481	958
不要	477	
コメント	67	

【Q2】レストラン・食堂機能サービスについて

【q1】レストラン・食堂機能サービスの需要について

	計	合計
希望する	914	1032
希望しない	118	
コメント	61	

【q2】希望する開店時間帯について

	計	合計
午前のなるべく早い時間帯	369	914
午前11時頃の昼食前の時間帯	381	
特にない	164	
コメント	30	

【q3】希望する閉店時間帯について

	計	合計
午後20時以前の時間帯	183	912
病院の消灯時間に合わせた21時	555	
その他の時間帯	37	
特にない	137	
コメント	53	

【q4】職員用と一般用のエリア区分の必要性について

	計	合計
必要	606	914
不要	308	
コメント	45	

【Q3】コンビニ・売店機能サービスについて

【q1】コンビニ・売店機能サービスの需要について

	計	合計
希望する	999	1033
希望しない	34	
コメント	79	

【q2】希望する開店時間帯について

年代別	計	合計
午前6時より早く希望（早朝希望）	106	998
午前6時～7時	263	
午前7時～8時	224	
24時間営業	336	
特にない	69	
コメント	28	

【q3】希望する閉店時間帯について

年代別	計	合計
午後20時以前の時間帯	55	998
病院の消灯時間に合わせた21時	418	
24時間営業	475	
その他の時間帯	50	
コメント	66	



【Q4】理・美容室等の美容関連機能サービスについて

【q1】美容関連機能サービスの需要について

	計	合計
希望する	274	1032
希望しない	758	
コメント	35	

【q2】希望する開店時間帯について

	計	合計
午前9時以降の早い時間帯	103	274
午後からでも良い	52	
特にない	119	
コメント	6	

【q3】希望する閉店時間帯について

	計	合計
午後20時以前の時間帯	116	273
病院の消灯時間に合わせた21時	49	
その他の時間帯	14	
特にない	94	
コメント	17	

【q4】理・美容やその他の美容関連施設機能に求めるサービスについて

	計	合計
カットやヘアカラー	163	629
患者の出張カット	249	
ヘッドスパ等	116	
エステサロン機能	53	
ネイルサロン等	34	
その他	14	

【Q5】郵便局・銀行の金融関連サービス機能の需要について

年代別	計	合計
希望する（ATMのみ）	392	1031
希望する（ATM・実店舗）	596	
希望しない	8	
どちらでもよい	35	
コメント	73	

【Q6】書籍や文具類などを取扱う複合施設について

【q1】複合施設の需要について

	計	合計
希望する（書籍のみ）	120	1033
希望する（書籍・文具）	725	
希望しない	188	
コメント	44	

【q2】希望する開店時間を選んでください

	計	合計
午前9時以降の早い時間帯	451	844
午後からでも良い	140	
特にない	253	
コメント	14	

【q3】希望する閉店時間を下記よりお選びください

	計	合計
午後20時以前の時間帯	272	843
病院の消灯時間に合わせた21時	333	
その他の時間帯	6	
特にない	232	
コメント	14	

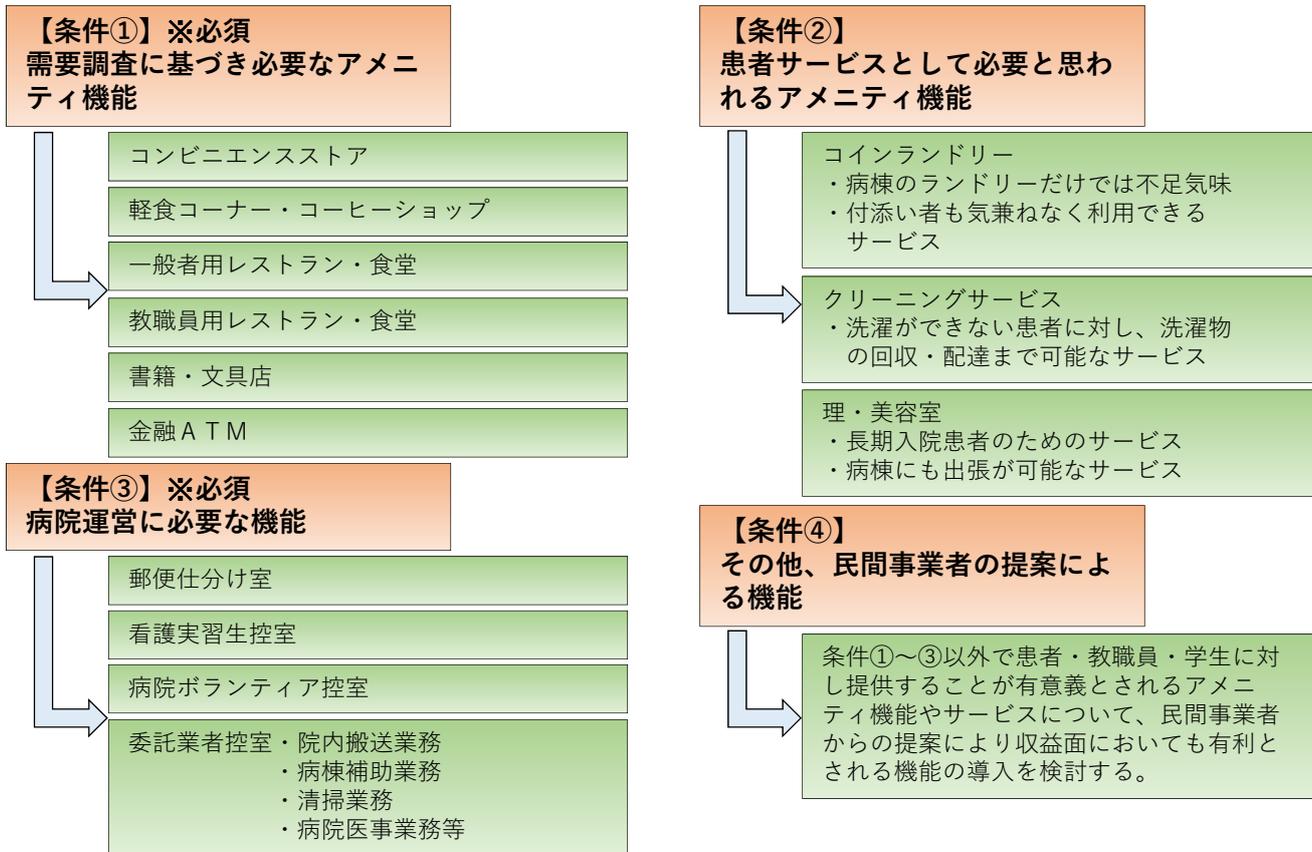
【Q7】その他のサービス機能の設置需要について

年代別	計	合計
コインランドリー	316	894
衣類等クリーニングサービス	297	
多目的イベント貸出ホール（有料）	216	
その他	65	



【Ⅱ】条件整理

需要ニーズ調査等を基に（仮称）アメニティ施設に必要な導入機能を整理する。
条件①及び③は必須の導入機能とし下表「導入機能整理表」にて民間の提案によるとしているものについては民間事業者と大学と協議の上その機能を決定する。



【導入機能整理表】

条件	導入機能	備考	想定面積
① ※必須	コンビニエンスストア	入院雑貨販売、イートインコーナー設置	民間の提案による
	軽食コーナー・コーヒーショップ		
	一般者用レストラン・食堂	厨房は教職員用と共用	
	教職員用レストラン・食堂	厨房は一般者用と共用	
	書籍・文具店	小児患者の学用文具の充実	
	金融ATM	コンビニATMとは別設置	
②	コインランドリー	民間の提案による	
	クリーニングサービス		
	理・美容室		
③ ※必須	郵便仕分け室	アカデミックエリアの郵便仕分けも共用	20㎡
	看護実習生控室	利用者最大90名程度	60㎡
	病院ボランティア控室	更衣も併用、利用者最大30名程度	40㎡
	委託業者控室（院内搬送業務）	更衣も併用、利用者最大30名程度	40㎡
	委託業者控室（病棟補助業務）	更衣も併用、利用者最大80名程度	60㎡
	委託業者控室（清掃業務）	更衣も併用、利用者最大80名程度	60㎡
	委託業者控室（病院医事業務等）	更衣も併用、利用者最大50名程度	40㎡
	計		320㎡
④	その他、民間の提案によるもの		



7. 建物階構成の想定

「6. 導入機能の情報整理」の【Ⅱ】条件整理に基づき（仮称）アメニティ施設の階構成を想定する。

建物は3階以上、1階及び2階を病院アメニティエリアとし6項【Ⅱ】の条件①、③及び④を配置する。各機能毎の配置及び占有面積は民間の提案とし民間事業者と大学の協議の上決定する。

3階は大学病院エリアとし条件④の機能を配置し大学が民間事業者より賃借することとし賃借する居室は確実に整備していただく。

【階構成想定図】

渡り廊下	フロア	エリア	導入機能	占有面積	渡り廊下
	3 F	大学病院エリア ※必須	<ul style="list-style-type: none"> 郵便仕分け室 看護実習生控室 病院ボランティア控室 委託業者控室 	20㎡ 60㎡ 40㎡ 200㎡ <u>計320㎡</u>	
	2 F	病院アメニティエリア	民間の提案による		
	1 F	病院アメニティエリア	民間の提案による		

8. 既存アメニティ

鹿児島大学病院内の既存アメニティについての現況については次表のとおり。 [令和元年6月1日現在]

導入機能	場所・営業時間	面積
ファミリーマート (倉庫)	場 所：プレハブ棟1 1階 営業時間：07:00～21:00	140㎡ (18㎡)
売店	場 所：歯科診療棟1階 営業時間：08:30～17:00 (月・金) 08:30～18:00 (火・水・木)	14㎡
一般外来食堂	場 所：プレハブ棟1 1階 営業時間：09:00～16:00	110㎡
職員食堂 (厨房：一般外来食堂と共用)	場 所：プレハブ棟1 1階 営業時間：11:00～15:30 (土・日・祝日休み)	67㎡ (85㎡)
簡易郵便局	場 所：プレハブ棟1 1階 営業時間：09:00～16:00 (土・日・祝日休み)	35㎡
理・美容室	場 所：プレハブ棟1 1階 営業時間：10:00～17:00 (不定休)	28㎡
鹿児島銀行ATM	場 所：プレハブ棟11階・歯科診療棟1階 営業時間：09:00～19:00	2㎡・5㎡
南日本銀行ATM	場 所：医科診療棟1階 営業時間：09:00～17:00 (日・祝日休み)	5㎡



9. 事業手法選定に係る情報整理

公共施設の整備及び運営において、民間活力を活用した整備手法を主軸として情報を整理する。

【Ⅰ】事業手法の比較

代表的な事業手法について、下表のとおり比較する。

事業手法		資金調達	主な資金源	設計	施工	施設所有	運営管理	事業開始までの期間	事業期間	
従来方式		大学	財投	大学	大学	大学	大学	短	－	
DB方式		大学	財投	民間	民間	大学	大学	短	－	
PPP方式	PFI方式	BTO	民間	金融機関	民間	民間	大学	民間	長	15年
		BOT	民間	金融機関	民間	民間	民間	民間	長	15年
	定期借地権設定	BOT	民間	金融機関	民間	民間	民間	民間	中	30年以上 50年未満

※財投：財政投融資資金の略

【Ⅱ】事業手法の事業開始までの期間の比較

代表的な事業手法における事業開始までの期間を比較する。

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
従来方式	← 概算要求 →		← 実施設計 →		← 工事期間 →	
DB方式	← 概算要求 →		← 設計・工事期間 →			
PPP方式	PFI方式	← 導入可能性調査 →	← 要求水準書作成 →	← 事業公募期間 →	← 設計・工事期間 →	
		← 要求水準書作成 →	← 事業公募期間 →	← 設計・工事期間 →		
定期借地権設定	← 要求水準書作成 →	← 事業公募期間 →	← 設計・工事期間 →			

【Ⅲ】事業手法の選定

上表の各事業手法の比較を踏まえ以下のとおり推進する事業手法を選定する。

- ・「3. 目的」に民間活力を活用し病院アメニティのサービス向上、長期的な経費節減、新たなアメニティ機能の動機付けを掲げており従来方式とDB方式については検討の対象とはならない。
- ・PFI方式は共同企業体でなすコンソーシアムによりSPCを設立し大学はSPCと特定事業の契約を交わしその対価を支払うことになり出資する金融機関とも協定を結ぶことでSPCへの融資に係る返済原資も限定的であるゆえリスク面において有利である。
- ・定期借地権設定は特定事業の主体となる事業者と大学が定期借地契約と事業契約を交わし事業者が大学へ借地料を支払うことで敷地内で事業展開するもので資金は事業者が準備することになりPFI方式と比較するとリスク面において不利である。
- ・本事業においては大学キャンパス内の中心でかつ病院エリアとアカデミックエリアの中間に位置し導入機能からしても収益性もあり社会情勢や立地の影響を受けることが少ないことから事業期間のキャッシュフローの試算が容易であること、また「4. 整備方針」の「方針Ⅲ」に支出の削減を掲げており定期借地契約による大学病院の収入面も補えること等から資金面でのリスクは極めて低いと判断し定期借地権設定にて事業検討を進めることとする。
- ・事業期間については事業用定期借地権を予定しているため存続期間が10年～50年となり、かつ30年以上とすることで建物譲渡特約付借地権も併用できることから30年以上50年未満で検討を進める。
- ・契約期間終了に伴う借地権消滅時は建物を大学へ無償譲渡することとし大学がこれを拒否する場合は建物撤去のうえ更地返還することで検討を進める。



10. リスク分担の検討

【I】リスク分担の検討ステップ

リスクが顕在化した場合の必要となる追加的支出の負担能力と大学側と民間事業者側のどちらが少ない費用で対応できるかを勘案し、リスクを適切に管理できるものが当該リスクを負うことを念頭に次表のステップでリスク分担を検討する。

【リスク分担検討ステップ表】

ステップ	事項	検討内容
1	リスクとその原因の把握	事業の実施に係るリスクとその原因をできる限り把握する
2	リスクの評価	<ul style="list-style-type: none"> 抽出したリスクが顕在化した場合の必要と見込まれる追加的支出のおおよその定量化 定量化が困難な場合には定性的に選定事業への影響の大きさの評価を行うこと 経済的に合理的な手段で軽減又は除去できるリスクの有無の確認、当該軽減又は除去に係る費用を見積もる
3	リスクを分担するもの (大学・民間事業者のいずれか)	<ul style="list-style-type: none"> リスクの顕在化をより小さな費用で防ぎきる対応能力 リスクが顕在するおそれが高い場合に追加的支出を極力小さくし得る対応能力
4	リスクの分担方法	<ol style="list-style-type: none"> 1. 大学あるいは選定事業者のいずれかが全てを負担 2. 双方が一定の分担割合で負担（段階的に分担割合を変えることが） 3. 一定額まで一方が負担し、当該一定額を超えた場合1又は2の方法で分担 4. 一定額まで双方が一定の分担割合で負担し、当該一定額を超えた場合1の方法で分担

【II】リスク事項の抽出

リスク分担の検討のステップに従い各ステップにおける大学と民間事業者との相関で顕在化するリスク事項を洗い出し次表のとおり整理する。

【リスク事項整理表①】

区分	リスク事項	リスク内容	大学	事業者
共通 リスク	応募リスク	応募費用の負担に関するもの		○
	契約締結リスク	事業者の事由により契約締結が困難な場合		○
		大学の事由により契約締結が困難な場合	○	
	許認可リスク	事業に影響を及ぼす許認可の新設・変更によるもの		○
		大学が取得すべき許認可の遅延によるもの	○	
	税制度リスク	事業者が取得すべき許認可の遅延によるもの		○
		事業に関係する税制度の新設・変更によるもの		○
	環境問題リスク	上記以外の税制度の新設・変更によるもの	○	
		事業者が起因する環境問題に関するもの		○
	第三者賠償リスク	上記以外の環境問題に関するもの	○	
		事業者が起因する事故等に関するもの		○
		施設の瑕疵が起因する事故等に関するもの		○
		施設の劣化や維持管理の不備による事故等に関するもの		○
	資金調達リスク	大学が起因する事由のもの	○	
物価変動リスク	事業に必要な資金が調達できないリスク		○	
	予測可能な物価変動に係る費用変動に関するリスク		○	
不可抗力リスク	予測不可能な物価変動に係る費用変動に関するリスク	△	△	
	戦争・国内紛争や予測不可能な自然災害によるもの	△	△	
契約終了リスク	建物所有権の移管または建物撤去の費用に関するもの		○	



【リスク事項整理表②】

区分	リスク事項	リスク内容	大学	事業者
設計時	設計リスク	大学が起因する事由によるもの	○	
		上記以外の設計リスク		○
	測量・調査リスク	事業者が実施した測量・調査に関するもの		○
		埋蔵文化財の調査に関するもの		○
		上記以外の測量・調査に関するもの	○	
	用地リスク	事業予定地の土壌汚染によるもの		○
		地質障害・地中障害物によるもの		○
		事業者が起因する用地計画のリスク		○
上記以外の用地リスク			○	
建設時	工事遅延リスク	大学が起因する工事遅延に関するもの	○	
		上記以外の工事遅延に関するもの		○
	工事監理リスク	工事監理の不手際に関するもの		○
	工事費増大リスク	大学が起因する工事費の増大に関するもの	○	
		上記以外の工事費の増大に関するもの		○
	品質管理リスク	品質管理が不十分で要求水準を満たさないもの		○
	施設損傷リスク	事業者が起因する施設の損傷に関するもの		○
		上記以外の施設の損傷に関するもの	○	
	性能変更リスク	大学の指示による性能の変更に関するもの	○	
		事業者による性能の変更に関するもの		○
維持管理	性能リスク	維持管理の要求水準を満たさないもの		○
	施設瑕疵リスク	事業者が起因する施設の瑕疵に関するもの		○
	施設損傷リスク	事業者が起因する施設の損傷に関するもの		○
		経年劣化によるもの		○
		大学が起因する施設の損傷に関するもの	○	
		上記以外の施設の損傷に関するもの		○
	修繕費増大リスク	予測可能な修繕費の増大に関するもの		○
		予測不可能な修繕費の増大に関するもの	○	
	需要変動リスク	需要の変化に伴う費用の変動に関するもの		○
		需要の変化に伴う収入の変動に関するもの		○
	計画変更リスク	事業者が起因する事由による事業計画の変更に関するもの		○
		大学が起因する事由による事業計画の変更に関するもの	○	
		上記以外の事業計画の変更に関するもの		○
	ランニングコスト増大リスク	事業者が起因する事由による事業計画の変更に関するもの		○
大学が起因する事由による事業計画の変更に関するもの		○		
上記以外の事業計画の変更に関するもの			○	
セキュリティリスク	大学が利用しているスペースのセキュリティに関するもの	○		
	上記以外のスペースのセキュリティに関するもの		○	



1 1. 鹿児島大学桜ヶ丘キャンパスの概要

整備対象の鹿児島大学桜ヶ丘キャンパスの概要を次に示す。

【I】鹿児島大学病院の概要

鹿児島大学病院の診療実績及び教職員数の情報については次表のとおり。

【診療実績】

平成30年度実績

種別		実績数	備考
許可病床数		666床	一部休床があり、A棟開院後に復床する見通し
1日平均入院患者数	医科	532.6人	
	歯科	25.9人	
1日平均外来患者数	医科	1,053.1人	
	歯科	420.3人	

【病院教職員数】

平成31年4月1日現在

種別	人数	備考
教員数	328人	
薬剤師数	54人	
看護職員数	721人	
医療技術職員数	286人	
医員・研修医数	412人	
事務系職員数	184人	
合計	1,985人	

※病院教職員数は委託業者の従事者の人数は含まない。

【II】アカデミックエリアの概要

アカデミックエリアの教職員数及び学生数の情報については次表のとおり。

【アカデミックエリア教職員数】

平成30年5月1日現在

種別	人数	備考
教員数計	293人	
教員以外の職員数計	61人	
合計	354人	

【アカデミックエリア学生数】

平成30年5月1日現在

種別	人数	備考
医歯学総合研究科	357人	
医学部	1,202人	
大学院保健学研究科	77人	
歯学部	305人	
合計	1,941人	

